設備機器の修理についてのお問い合わせ内容から

設備機器の修理についてのお問い合わせでは、〝電気・空調〟の修理依頼が多く寄せられています。なかでも「換気扇から音がする」「止まらない・動かない」「吸い込みが悪い」といった症状が大半を占めています。

スイッチや照明、換気扇は、故障の原因が判断しにくい場所です。換気扇が動かない場合は本体のトラブルという可能性もありますし、経年劣化も考えられます。スイッチを押してもカチッと音がしないときはスイッチの故障、照明の電球を交換しても点灯しないのであれば器具本体の劣化（※）かもしれません。電気系統や換気扇、スイッチの機能はマンションによって異なるため、修理が必要な場合は専門業者に依頼するようにしてください。

頻繁に使用する設備機器の故障を防ぐには、無理な使い方をしないことが大切です。取扱説明書を読み、決められた使用法を守るようにしましょう。機器の交換部品の保有期間はメーカーでも7年程度ですので、異常を感じたら早めに対応することをお勧めします。

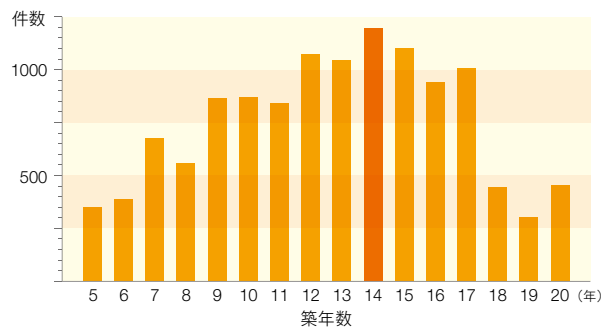
玄関まわりの問い合わせは、築年数が経つほど増える傾向にあります。鍵穴が回りにくいときでも、油を注すとさらなるトラブルを招くこともありますので専門業者に見てもらいましょう。

スムーズなご対応のためにも、お問い合わせの際は取扱説明書を用意していただくか、設備の製品番号を確認してからのご連絡をお願いいたします。

※照明器具の耐用年数は10年くらいと言われています。

早めの対策をお勧めします。

修理の内容によっては、正常な状態に戻るまでに時間がかかることがあります。排水管のつまりや漏水は、専門業者に依頼すれば比較的早く対処できますが、照明器具やスイッチ、換気扇の異常となると、故障の原因を調べたり、替えの部品を取り寄せなければならなかったりと、直るまでに時間がかかってしまう可能性があります。特に、換気扇のトラブルは、本体そのものを交換しなければならないケースが多いようです。

右のグラフは、マンションの築年数ごとのリペア依頼件数を表しています。築10年あたりから依頼件数が増えはじめ、築14年が最多となっています。10年近く経ったお住まいで異常を感じたときは要注意です。まず取扱説明書を確認し、それでも原因が分からないようでしたら、早めに対策をとられることをお勧めします。

『大京グループ くらしサポートデスク』ご利用の際の注意事項は下記URLをご参照ください。

大京アステージ ホームページ ⟶ www.daikyo-astage.co.jp

［お問い合わせ］大京グループ くらしサポートデスク 0120-264-406
（受付時間9：00〜19：00　年末年始を除く）

大塚砂織＝イラスト　illustration by Saori Otsuka